

“日本一女性が働きやすいまち” 実現に向けて

「日本一女性が働きやすいまち」の実現を思い描く、
酒田市女性活躍推進懇話会委員の4名からメッセージをお届け。
よりよい暮らしやまちづくりのヒントになることを願います。

※本市の働く場における女性活躍の推進に関する取り組みを検討する有識者や関係機関等からなる会

選ばれるまちづくり



「日本一女性が働きやすいまち」を目指すことは、男性にとっても日本一働きやすいまちを目指すことです。今、若い男女は、仕事（ワーク）と自分や家族との生活（ライフ）のどちらも大切にしたいと願っています。女性も男性もいきいきと働き、そして自分の時間や家族との時間を楽しめる暮らしを求めているのです。職場では、女性がひとりの「個人」「仕事人」として尊重され、そのうえで各自が責任を果たしていくことが大事になります。若い女性が「酒田で暮らそう」と定住・帰郷を選べるような、魅力あるまちづくりをみんなで進めていきましょう。

湊町酒田の腕の見せどころ



私たちは市民として、酒田の「実現したい未来ありたい姿」に向かって多くの課題を解決していく使命を持っています。「日本一女性が働きやすいまち」宣言の目的は、多くの地方都市が抱える問題を真正面から見据えて、酒田市民一人ひとりが自分事としてチャレンジしていく意志の共有化と受け止めます。その実現に向けて重要なのは、新しい価値観の「受容・理解・尊重の心」です。湊町として発展した酒田には、新しい文化を受け入れる土壌があります。未来の子どもたちが、酒田市民で良かったと誇れる環境でバトンタッチするために、皆様と手を取り合って挑戦し続けたいと思います。

Sekine Chikako

最上町出身。1972年株式会社山形支店入社後、子会社出向等を経て、2009年国際事業部国際マーケティング部美容企画推進室長、2012年執行役員美容統括部長。2014年～2017年執行役員常務。2016年～2017年顧問。2018年1月から現職。

株式会社Bマインド 代表取締役
関根 近子さん

Ito Machiko

東京都出身。1995年国立女性教育会館勤務後、2001年東北公益文科大学開学と同時に着任。専門は社会学、女性学。2016年男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞。

東北公益文科大学
伊藤 真知子さん

社長の意志が未来を拓く



地域中小企業における「女性活躍」の推進の最重要ポイントは、社長が「我が社を女性が働きやすく、やり甲斐のある会社にするんだ」と宣言することです。そして、女性特有の職場環境における苦勞を具体的に認識した上で解決方法を示し、社員みんなにしっかりと伝えることです。なんと難しい。でも、我が社が生き残るための欠くべからざる手段であると認識した社長さんだけに、未来があるのかもしれない。社長が勇気をもって発信すれば、喜んで働いてくれる女性社員がいる、なんと頼もしく、なんと幸せなことでしょう！

みんなが輝く農業へ



本市の農業就業人口は毎年減少しており、その高齢化率は5割を超えています。農業は男社会と思われがちですが、就業者の半数は女性です。しかし、女性たちの多くは仕事のほかに家事や育児も担うため、経営に関わる機会が少ないのが現状となっています。その負担を分散して、みんなが方針決定の場に参加できるように一人ひとりの意識を変えられれば、今よりもっと楽しい農業が実現できるのではないのでしょうか。女性農業者の地位向上や、誰もが自分のやりたいことにチャレンジできる、得意なことを存分に生かせる農業の継続発展を目指して、これからも活動を続けたいです。

Takahashi Mie

酒田市出身。高校卒業後、東京で10年間美容師として働いたのちUターンして就農。2018年～すくすくあぐりネット代表。2019年庄内地域農林水産業若者賞受賞。同年～庄内みどり農業協同組合非常勤理事。

すくすくあぐりネット 代表
高橋 身依さん

Kato Satoshi

酒田市出身。大学卒業後、三菱マテリアル㈱に約10年勤務し、1995年加藤総業㈱に入社。常務を経て2000年に社長就任。酒田港風力発電事業者協議会長、酒田地区雇用対策協議会長、公益社団法人山形交響楽協会理事。

加藤総業株式会社 代表取締役社長
加藤 聡さん